



練馬区が北朝鮮の核実験に抗議

～北朝鮮の核実験に対して練馬区長が抗議声明、練馬区議会が決議～

と き 2月18日

12日に北朝鮮による核実験が強行されたことは、国際社会全体の平和と安定を侵害するものとして、厳しく対応する必要があることから、練馬区を代表し志村豊志郎練馬区長が北朝鮮に対する抗議声明を発表した。

同時に練馬区議会は、18日の本会議において「北朝鮮の核実験に断固抗議する決議」を行った。

抗議声明文および決議文等の内容は別紙のとおり。

【本文】

練馬区長は2月18日、北朝鮮が2月12日に行った核実験に対して抗議声明を発表した。

練馬区議会では、平成25年第一回定例会において「北朝鮮の核実験に断固抗議する決議」を行った。

抗議声明文では、国際社会が世界の平和と安全のために核実験の中止を求めて懸命な努力を続けている中で、今回の核実験が強行された事実を指摘したうえで、昭和58年（1983年）10月3日「非核都市練馬区宣言」を行った自治体として抗議し遺憾の意を表している。さらに、今回の核実験は、わが国のみならず、平和と安全を願う国際社会に対する重大な挑戦であり、国際連合安全保障理事会の決議に反するものであるとし、北朝鮮の核実験に厳重に抗議し、今後核実験を行わないことを強く求めている。

【添付資料】

- ・ 北朝鮮の核実験に関する抗議声明
- ・ 北朝鮮の核実験に断固抗議する決議
- ・ 平成25年第一回練馬区議会定例会議決件名

【問い合わせ】

（抗議声明に関すること） 総務部 総務課 総務係 電話 03-5984-2600

（決議に関すること） 議会事務局 庶務係 電話 03-5984-4732

北朝鮮の核実験に関する抗議声明

北朝鮮の国営通信社「朝鮮中央通信」は、北朝鮮が2月12日に核実験を実施したと発表した。国際社会が世界の平和と安全のために核実験の中止を求めて懸命の努力を続けてきた中で、今回の核実験は強行された。

すべての核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願って、昭和58年（1983年）10月3日に「非核都市練馬区宣言」を決議し、さらに、これまで行われた各国の核実験に抗議するとともに、即時中止を求める要請も行ってきた練馬区としては、誠に遺憾である。

核兵器の開発につながる核実験は、いかなる理由があろうとも、わが国のみならず平和と安全を願う国際社会に対する重大な挑戦であり、また、核実験を行わないよう求めた国際連合安全保障理事会の決議に明らかに違反するものである。

よって、ここに練馬区民を代表し、北朝鮮の核実験に対して厳重に抗議するとともに、核実験を今後行わないよう強く求めることを表明する。

平成25年（2013年）2月18日

練馬区長 志村 豊志郎

北朝鮮の核実験に断固抗議する決議

北朝鮮の国営通信社 朝鮮中央通信は、2月12日に3回目の地下核実験を実施したことを発表した。

わが国は、広島、長崎への原爆投下による被爆を経験した唯一の国であることから、多年にわたり、全世界に核兵器の廃絶を求め、また国際社会も核軍縮や核実験全面禁止への努力を積み重ねてきた。

練馬区は、すべての核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願って、「非核都市練馬区宣言」を昭和58年10月3日に決議した。また、米国、フランス、ロシアや中国、更にインド、パキスタン、イギリスが行った核実験に抗議し、即時中止を求める要請も行ってきた。

しかし、これらの努力を重ねてきたにもかかわらず、北朝鮮が、平成21年同様、ミサイル発射に引き続き再び核実験を強行したことは、誠に遺憾である。

このことは、わが国のみならず、東アジアおよび国際社会の平和と安全に対する重大な脅威であり、これは核兵器不拡散体制に対する重大な挑戦である。また、先般1月22日に全会一致で採択された安保理決議2087号をはじめとする一連の国連安保理決議に明確に違反するものであるとともに、日朝平壤宣言や平成17年9月の六者会合共同声明にも違反するものである。

よって、本区議会は、北朝鮮の核実験に対して断固非難し、厳重に抗議するとともに、核実験および安保理決議に違反する行為を今後行わないよう強く求めることをここに表明する。

以上、決議する。

平成25年2月18日

練馬区議会

平成25年第一回練馬区議会定例会議決件名

平成25年2月18日

議 決 議 案

- 1 議員提出議案第4号 北朝鮮の核実験に断固抗議する決議 (原案通り可決確定)